

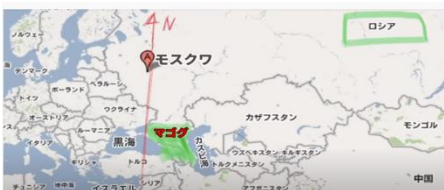
ノルマン人バイキングのボスの1人 リューリク (830頃-879頃/在位 864-879) が、自分のバイキング艦隊を率いて、バルト海を超えてロシアに上陸し、既に定住していた先住民のスラブ民族をあっという間に平定し支配し、ノヴゴロドに国を造るんですね。

リューリクにはイーゴリ (865or877?-945/在位 913・923-945) という息子がいました。彼はノヴゴロドに留まらず、ドニエプル川をさかのぼって南に南に行きます。ロシアの冬は厳しいので、どうしても気候の温暖な南の方へと南下政策を取るわけですね。それでドニエプル川を南に下って、キエフに都を置きました。これがキエフ公国。別名キエフ・ルーシです。

スラブ人がバイキングのことを「ルーシ」と言ったんです。ルーシには“オールを漕ぐ人” という意味があります。バイキングの船は帆船・風力で動くのと同時に、獲物を見つけたら腕力でオールを漕いで、すごいスピードで接近して乗り込んで行く。スラブ人からすると、とにかく“オールを漕ぐ人たち”。これがルーシ。オールを漕ぐ人たちが造った国、これがキエフ・ルーシです。

やがてそのうちに、ノルマン人バイキングと、数では圧倒的多数のスラブ人が混血し始めました。言語もスラブ語を使用し始めます。この混血の人たちの国がキエフ公国。ノルマン・スラブの混血国家。これがルーシ。ルーシがギリシア語でロシアになるのです。18世紀、ロシア帝国はギリシア語読みのロシア、外国人が発音するロシアを自分の国の名前にしたんですね。これがロシア帝国。

ルーシという言葉は、9世紀になってスラブ人が言い出した言葉です。しかし、**エゼキエル書**は今から 2600 年前に書かれました。古い言葉ですよ。紀元前 6 世紀に、エゼキエルを通して神が書かした預言書。だから当然、ルーシもロシアという言葉もありません。



では、なぜ**マゴグ**がロシアを意味すると言えるのでしょうか？ マゴグの地は黒海とカスピ海の間、現在カフカスと呼ばれている地域、その辺り一帯、地図の緑の部分ですね。現在のロシアがそれに当たります。

誰がそれを言っているかという、1世紀 ユダヤ人の歴史家でヨセフスという人がいます。聖書を勉強する人は必ずヨセフスの文献を見ますが、その『古代誌』という本の中に「マゴグとは黒海とカスピ海の間辺り一帯の土地。」 それは現在のロシアなのです。マゴグがなぜロシアと言えるのか。地理的な理由で言えるのです。

エゼキエル書に「マゴグは2つのブロックを持っている」と書いてありましたね。**メシエク**と**トバル**の大首長。首長とはボス/大ボスです。メシエクというブロックと、トバルというブロックの両方を束ねる大ボス/ラスボス。それがマゴグ。**メシエク**はモスクワの語源で、**トバル**はシベリアの中心都市トボリスクの語源です。

ところで、小さな都市国家のキエフ公国 (ルーシ/ロシアの原型国家) は、13世紀に滅ぼされてしまいました。誰にと思いませんか？ 泣く子も黙るモンゴルですよ。モンゴルはルーシを200年間支配したので、ルーシの国はその間 地図から消えてしまったんです。その支配の時代を“タタールのくびき”と言いました。タタールはモンゴルのこと。くびきは牛や馬を連結する連結器のことですよ。つまり、モンゴル人はロシア人の先祖たちを牛や馬のようにこき使った。

しかし、15世紀にモンゴルから独立します。イワン大帝（1440-1505/在位 1462-1505）。
タタールのくびきを取り外し、独立国家になるのですが、その時彼らは「もう外国人に支配されてこき使われるのはこりごりだ！二度とそんなことは起こさせない！」と心の底から思ったんですね。
それで、首都と国境の距離をできるだけ遠ざけるほうが良いと考えました。

モンゴルは東から来ました。二度と東からの異民族によって支配されたくないと考えたロシアの原型国家は、東に向かってどんどん膨張し始めて、とうとう極東まで来た。
今や、世界最大の領土面積を持っているのはロシアですよ。地球陸地の1/9はロシアです。
中国の人口の1/10しかいないのに、領土は世界最大の国になっているんですね。

ロシアにはウラル山脈があって、東西2つに分けることができます。ウラル山脈の西側の中心がモスクワ。
東側の極東に至るまでの全土がシベリアで、中心都市がトボリスクだったんですね。
この東西2つとも東ねている大国は、今日（こんにち）のロシアにピッタリ当てはまる条件なのです。
メシエクとトバルの大首長。ウラル山脈の西も東も両方東ねて1つの国家にしているのは現ロシアなんですね。

エゼキエル 38 章 15 節

おまえ（マゴグ）は北の果てのおまえの国から、多くの国々の民とともに来る。



マゴグはイスラエルから見て北の果ての国であると書いてあります。イスラエルの中心はエルサレム。
エルサレムから北極点に向かって行く方向が真北。
エルサレムから北極点に向かって真っすぐ線を伸ばすと、どこの上空を通過するか。モスクワなんです。現ロシアの首都。
このことから、マゴグは現在のロシアだと言えます。

①マゴグの地にあり、②モスクワを中心とする原型ロシアと、ウラルより東側のシベリアを東ねている国であり、③イスラエルから見てドンピシャの北に首都を持っている国。それはロシアをおいて他にないのです。

さて、15.おまえ（マゴグ）は北の果てのおまえの国から、多くの国々の民とともに来る。

ロシアは単独でイスラエルに攻め込んで来るのではないんですね。

いくつかの連合国を作り、同盟国と結び付けて、一緒にイスラエルに攻め込んで来ると言うのです。

次回は、ロシアの連合国となるメンバーについてご紹介したいと思います。

エゼキエル書を詳細に知ることによって、聖書預言がいかに正確に現在のことを語っているか分かっていただけるのではないかなと思います。

ぜひまた、このチャンネルにいらしてください。そして、チャンネル登録もよろしくお願いします。

ではまたこのチャンネルでお目にかかりましょう。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。